

---

# 南とアリス

藍口 マサト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

南とアリス

### 【Nコード】

N4474K

### 【作者名】

藍口 マサト

### 【あらすじ】

二人の少女のちょっとした日常。

ほのぼのとしてください。

「南ー！ごめーん！待ったあ？」

正門の柱に寄りかかっている制服姿の少女に、ジャージの少女が走りよっていく。

「あらアリス、もう来ないかと思ったわ」

南と呼ばれた制服の少女が、少しふくれて言う。

夕日のせいであたりはもう紅く染まっている。

「ごめんごめんー！一年はほら、後片付けがあるから」

「大体、アリスはいつつも時間にルーズなのよ」

「ごめんって言うてるでしょ？」

「……………反省してないね」

「してるってえー」

「じゃあ、アイスね」

「ええー？またあー？いつつもじゃないの」

「いつつもアリスが遅刻するからでしょ」

「今月ピンチなのになあー」

「じゃあ、行きましようか」

南が言うつと財布の中を覗きながらアリスが続く。

そういえば…とアリスが会話を切り出した。

「南、美術部の方はどうなの？コンクールが近いって言うってたよね？」

「大丈夫よ、なんとかね。はじめたのが少し遅かったから先生にも心配かけたけどね」

「美術部の先生ってたしか有田先生よね？」

「そうよ」

「じゃあ、『アリスさん？君の絵、コンクール間に合うのかな？どうなのだね？』とか言うってたでしょ？」

アリスは有田先生のモノマネをして言った。特徴を良く捕らえてい

て似ていたので南は素直に感心した。

「そうね。たしか、言っていたわ」

「やっぱりー！と言ってアリスは一人で笑った。

チリンチリーン、とベルの音が背後から近づいてくる。

「南ー！また明日ね！」

自転車で近づいてきたショートカットの女学生が二人を抜き際に手を振りながら言う。

「さおりー！また明日ね！」

アリスが元気良く答える。

「バスケ部の友達なの？」

南が言うと、

「そうだよー！あの子、駅前の本屋の娘さんなの」

「らいおん堂の？子供いたんだ……」

「一人っ子らしいよ！」

「へー、見たこと無かったな」

「あの子手伝いとかないからねー」

アハハ、とアリスが笑った。

南は笑う事が苦手だ。

どうやったらアリスのように心から楽しそうに笑う事ができるのかさっぱりわからない。

人には恥ずかしくて言えないが、鏡の前で笑顔の練習をした事も何度がある。

だが上手く笑えない。

「ねえ、南。明日の約束覚えてる？」

「あら心外ね。もちろん覚えてるわ。忘れっぽいのはあなたですよ？」

南は少し驚いて言うと、それはそうね、とアリスは笑った。

「休日にあなたとなんて久しぶりね」

南は少し照れていったが、それに気付いた様子も無く、

「そうだったけ？この間、映画見に行ったの、あれいつだったけ？」と話を続けた。

「二ヶ月ぐらい前よ」

「もうそんなになるんだー。大会近くて遊べなくてごめんね？」

「いいわよ、私もコンクール近くて忙しかったし」

いつのまにか、商店街まで歩いてきていた。

「あ…………。家近くまで来ちゃったけど、アイスどうする？」

はたと立ち止まってアリスが言った。

「アリス。今月はピンチらしいから、今回は許してあげるわ」

「サンキューー！そうしてくれると助かる！」

「でも貸しだからね？」

少し意地悪く南が言うのと、ちえー、っとアリスがすねたふりをする。

「じゃ、また明日ねー！」

「うん。明日」

そう言うのと彼女らは別れて自分の家に入っていった。

彼女らの実家は共にこの商店街で店を営んでいて、その関係で二人は幼馴染と言う関係なのだ。

アリスは『食堂・南』へ、そして南は『写真館・有須』へ。

テンションは違えど、共に『ただいま』と言って入っていった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4474k/>

---

南とアリス

2011年1月16日01時49分発行